

APRICOT 2023 参加報告書

2023年3月24日

長崎県立大学

柴尾 直輝

2023年2月20日~3月2日にフィリピン・マニラで開催された「APRICOT 2023」に参加した。本報告書は、開催された APRICOT 2023 のうち参加した conference sessions について感想等を記したものである。

1. 参加したセッション

- Conference, Day 8 2/27(月)
 - Opening Ceremony and Plenary
 - APOPS 1
- Conference, Day 9 2/28(火)
 - APOPS 2
 - APRICOT Peering Forum 1
 - APNIC Panel - Satellite broadband in the Asia-Pacific: technology and policy
- Conference, Day 10 3/1(水)
 - Diversity & Inclusivity in Tech
 - Network Operations 1
 - NOG Reports
- Conference, Day 11 3/2(木)
 - Network Operations 2
 - Lightning Talks
 - Closing Plenary

2. 印象に残ったセッション

- APNIC Panel - Satellite broadband in the Asia-Pacific: technology and policy
 - Satellite broadband for the masses: Are we there yet?
 - Mike Puchol (speaker) – Remote
 - (インターネットへ)つながっていない人たちをつなぐためにインフラの整備が必要であるが、需要と供給のバランスであったり、他インフラの整備によってケーブルが断線されたり、ケーブルの交換が頻繁に必要であったりと多数の弊害が存在する。

本セッションでは、そのような課題に対して衛星を使った通信について議論を行っていた。たとえば、SpaceX 社が提供する Starlink ではアンテナが約 500 ドルであるが、1 台ずつ 100 人に接続すると 1 人当たりのコストは約 5 ドルとなり、低コストでインターネットへつなぐことが可能であると示した。

また、ケニアなどのインターネットにつながっていない地域についてマクロレベルではなくミクロレベルで問題を考え、たとえばケニアのような地域では彼らは想像力を働かせてインターネットをつなげている、インターネットの目的を知らない。このような問題を解決していくことが大事だと述べた。

- Network Operations 1

- Keep Ukraine Connected after one year and my lessons learned for the community
- Rene Fichtmuller

本セッションでは、ウクライナの地においてインターネットを存続させることについて述べられ、日本は地震大国であり、また様々な災害によりインターネットが切れるといった事もしばしばあるため私は本セッションを聴講した。

本セッションの中で、経験から得られたこととして以下の 4 つの事が提示された。

1. 自分が持っているものを知る
物資の在庫があることが重要であり、災害時に素早くアクセスできる必要がある。
2. 知識をチェックする
メンバーが災害復旧に対する知識を所持しているか。
3. トレーニングする
災害対応訓練を行う。
4. ツールを使う
ネットワーク監視ツールを使う。

- Lightning Talks

本セッションでは Q & A を含めて 10 分の LT が行われ、タイムリーで興味深い、または少しクレイジーなトピックに関するトークが招待される。全部で 8 つのトークが選ばれる。

私は本セッションに応募し、採択され登壇した。発表した内容は国内のいくつ

かのカンファレンスでも発表したものと同じではあったが、英語での発表だったため大変貴重な経験であった。

3. 今回の経験を今後どう生かしていきたいか

私がインターネットに興味を持ったきっかけが、ピアリングをする際に人と人のつながりが大事であることを学んだことである。今回、APRICOT 2023へ参加するきっかけというのも実際に現地で面と向かって人と人のつながりを実感したいからであった。実際にソーシャルイベントへ参加し、改めて人と人のつながりの重要性を再確認することができ、そして拙い英語でもしっかりと会話をしていただき大変貴重な時間を過ごすことができた。

また、印象に残ったセッションでも述べたが初めてのAPRICOTの参加で登壇してLT発表を行った。緊張のため終始発表原稿に目を落としてしまったが、発表の経験は自分の自信につながり、その後のソーシャルイベントでも積極的に英語を使って会話をを行うことができた。

今回APRICOT 2023への参加を通して技術に対する知識は勿論のこと、コミュニケーションなどは他カンファレンス等にも活用できるため、今後も積極的にコミュニティ活動やカンファレンス等に生かしたい。

4. 参加支援プログラムに対する所感

私自身、初めての海外であり始めは不安ではあったが、参加支援プログラムでは飛行機やホテルの手配をしていただき会期中は気を病むことなく集中して会議に臨むことができた。また、帰りの飛行機が遅れるトラブルが発生したがホテルの延泊の手続等、迅速な対応をしていただいた。

最後に今回、APRICOT 2023への参加に際しサポート、ご支援いただいたすべての方々に感謝申し上げます。